

令和 2 年度
社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会
事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日



＜総 括＞

令和2年度は、前年度末から続いている新型コロナウイルス感染が徐々に県内外で拡大、法人全体の運営にも影響される事態となった。特に、コロナ禍の中、年間を通して地域福祉活動や介護予防事業の自粛などが余儀なくされ、多くの影響を受けた。中でも、合併してから毎年実施し今年度も計画されていた「ふれあいフェスタ 2020」も中止となった。

一方で、各事務所や通所系の事業所は日々感染予防に努めてきた。居宅介護支援事業所、地域包括支援センターにおいては、感染した場合の影響を踏まえ 4/17 から 7/2 までの期間、それぞれ 3 か所、2 か所に分散しての勤務体制をとり、万全な体制をとり業務にあたってきた。永平寺老人福祉センターについても、町当局の方針に従いながら感染予防を図り、営業や閉館などを繰り返しつつも柔軟に対応にあたってきた。

法人全体としては、今期は新型コロナウイルスの感染拡大により、収入面においては特に介護保険事業が大きな影響を受けたが、県や町などの補助金などをはじめとする支援もあり、日々の創意工夫で、各部門が事業運営に関する課題解決や改善にそれぞれ取り組んできた。

また、オンラインの研修会を積極的に活用し、職員の資質向上に努めてきた。

さらに、数年来から取り組んできた資格取得やメンタルヘルス対策事業と仕事と生活の調和を図る取り組みについては継続し推進してきた。

地域福祉部門では、これまで取り組んできた地域福祉活動の衰退が心配されたが、工夫しながら取り組む中でケーブルテレビ（社協だより枠）を活用した積極的な情報発信、啓発活動をはじめ、福祉委員や民生委員との連携強化、加えて、コロナ禍におけるサロン活動の運営方法への助言や支援など、新しい生活様式等の対応に努めてきた。特に高齢者の安否確認やフレイル化を防止するなどの目的で、民生委員の協力のもと「ひとり暮らし高齢者見守り訪問事業」を実施した。その他の取り組みとしては、子供の孤立を防ぎ地域で総合的に見守り支援を行うことを目的とした「子ども見守り強化事業」を令和3年1月から上志比地区にて実施した。

ボランティアセンターでは、小学校の福祉教育で福祉やボランティアに興味をもってもらうきっかけづくりに一年を通して取り組むことができた。一方で、ボランティア活動全体が自粛した傾向にあり、活動ができない団体、個人も多くあるという課題が残った。次年度は再開に向けて支援や場所、活動方法などの情報提供をしていく必要がある。

障害者計画相談事業においては、相談が増加する中で、特に障がい児の利用件数が大幅に伸びた。今後の課題として、相談支援専門員の専門性や人材育成が不可欠であることに加え、障がい者も含めた地域内の共生社会の実現に向け、関係機関と協力連携し、重層的な包括支援システム体制を構築するための取り組みを強化していく必要がある。

コロナ禍の影響による失業や休業等による収入減での相談が例年の 10 倍以上にあたる、114 件あり、特例緊急小口資金と特例総合支援資金の貸付に至ったケースが年度内で 76 件あった。今後も増え続ける相談に応じていくとともに、貸付後の自立に向けた支援が必要である。

在宅部門においては、コロナ感染のリスクの中で、介護保険事業所全体としては利用者の減少による収入減があったものの、通所・訪問系ともほぼ通常営業ができたことは大いに評価できる。通所介護事業所の介護報酬の特例（上乘せ）請求など様々な視点で協議し、収入の確保に努めてきた。また、課内の強化については、在宅係長会議を定例で実施し、様々な視点で協議し、課題の整理共有および改善に積極的に取り組み質の高いサービスの提供に努めてきた。

今後は、数年先を見据えて安定した収入確保と事業運営に向けて事業所ごとに点検しアンケート実施を行うなど利用者の声を聴きながら取り組んでいく。

町受託事業では、関係機関と連携しながら事業運営方法等について、利用者の声や実態をもとに次年度の運営に向けて、見直しの検討を重ね、町と協議を進めてきた。次年度は、効率化を図りながら取り組んでいきたい。

永平寺老人福祉センターでは、感染予防のため昨年度末から 6/2 まで閉館となったことや、再開後もイベント等の自粛をしており、前年度より大幅な利用者減となった。一方で、松岡・上志比地区からの利用者も増加してきており、今後も来所者の介護予防及び相互の集いの場、高齢者が気軽に相談ができる場所として積極的に周知と利用促進に努めていく。

令和 2 年 6 月には、永平寺老人福祉センターおよび 3 通所介護事業所において、令和 3 年度から 6 年間の指定管理者応募に申請提出した。次年度以降は在宅での生活に必要な介護サービスの継続的な提供と高齢者の健康および介護予防に努めていくとともに安定した利用者確保に向けた事業運営の対策を強化していく。

地域包括支援センター部門においても、当初の計画どおり実施はできなかったが、新しい形での地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行ってきた。その中での成果として、相談件数は昨年を上回る結果となり、相談機関として町民や関係者に周知されてきた事などが要因と考える。しかし、相談内容は複雑化しており、困難課題を持つ相談も急増している。多機関と連携する中でより高い専門性が求められ、全体の業務の中で相談業務の占める割合が大きくなっている現状もある。

介護予防事業では、教室開催を 7 月末まで全面的に中止したことで、活動低下が懸念されたが、ケーブルテレビを活用しての体操の放映や参加者への状態確認、相談などを行い、活動低下の防止を図り、教室再開後は感染対策を講じながら活動が継続して実施してきた。

平成 29 年より生活支援体制整備事業の一環として取り組んできた、支えあい座談会の成果として「上志比ひまわりサポートの会」の地域の自主的な支援活動が開始された。現在、支えあい座談会については、志比北地区でも取り組みが始まった。

全体では、今年 1 月の大雪において、通所介護事業所等の休業を余儀なくされた。しかし、休業期間中、利用者の安否や健康や生活状況の確認を行った。また、町の要請による支援物資の配達や地域内へ高齢者や障がい者などの要援護者への見守り支援を行うなど、過去の経験を活かした取り組みもできた。

また、町で取り組んでいる災害時の「福祉避難所」のマニュアル作成や今後の要援護者支援に関する取り組みへも協力し貢献してきた。

次年度に向けては、コロナ禍の中でも新しい形での地域への発信や見守り活動、地域福祉活動、相談機能の充実、介護保険事業所の健全かつ安定した経営などをはじめ、社協発展強化計画や地域福祉活動計画の実現に向けて、部門、事業ごとに精査しながら分析と課題解決を図り、期間中の達成に向けて法人全体で取り組んでいきたい。

01 法人運営事業

(所轄；法人運営課)

01 法人運営事業

01 法人運営事業

1) 評議員会の開催

回	開催日	会場等	出席者
1	7月3日(金)	永平寺町やすらぎの郷	評議員14名中11名、監事1名、正副会長
2	10月12日(月)	書面決議	評議員14名全員の同意
3	11月26日(木)	永平寺町やすらぎの郷	評議員14名中8名、正副会長
4	R3 3月26日(金)	永平寺町やすらぎの郷	評議員14名中11名、正副会長

・理事の選任 7月3日付 旧) 斎藤 信秀 氏 新) 辻 保須美 氏
10月12日付 旧) 奥野 正司 氏 新) 滝波 登喜男 氏

2) 理事会の開催

回	開催日	会場等	出席者
1	6月18日(木)	永平寺町やすらぎの郷	理事13名中11名、監事2名
2	9月25日(金)	書面決議	理事12名全員の同意、監事2名の確認
3	11月18日(水)	永平寺町やすらぎの郷	理事13名中11名、監事2名
4	R3 3月17日(水)	永平寺町やすらぎの郷	理事13名中10名、監事2名

3) 理事・監事候補者選考委員会

回	開催日	会場等	出席者
1	6月9日(火)	永平寺町やすらぎの郷	理事・監事候補者選考委員会委員4名

4) 監査の実施

【令和元年度決算監査】

回	開催日	会場	出席者
1	6月3日(水)	本所	監事2名、正副会長、常務理事

【令和2年度中間監査】

回	開催日	会場	出席者
1	11月6日(金)	本所	監事2名、正副会長、常務理事

【内部会計監査】

・ 税理士による定期的な会計指導・内部監査の実施継続。

回	開催日	会場	出席者
1	4月24日（金）	本 所	松田会計事務所 2 名、会計職員 2 名
2	5月12日（火）	〃	〃
3	5月25日（月）	〃	〃
4	6月2日（火）	〃	〃
5	6月25日（木）	〃	〃
6	7月22日（水）	〃	〃
7	8月26日（水）	〃	〃
8	9月24日（木）	〃	〃
9	10月26日（月）	〃	〃
10	11月27日（金）	〃	〃
11	12月24日（木）	〃	〃
12	R3 1月27日（水）	〃	〃
13	2月25日（木）	〃	〃
14	3月26日（金）	〃	〃

5）経営基盤の強化

①職群別会議

各層に分かれた会議体にて、局内における情報共有や課題整理、課題解決に向けた協議検討をおこなう。

○課長会議 → 局内の重要事項に関することや今後の強化戦略等について

○課長・係長合同会議 → 局内の課題整理や情報共有。

②専門家による局内研修の実施

【局内研修の開催】

外部講師を招き、専門的知識を学ぶことを目的とし、社協職員としての更なる資質向上を目指した。



ビジネスマナー研修



人事考課研修

回	開 催 日	研 修 名	講 師	会 場 等	出 席 者
1	7 月 13 日 (月)	ビジネスマナー研修	(株)福井キャピタル& コンサルティング 西村 喜美 氏	永平寺町 やすらぎの郷	新採用職員 7 名
2	8 月 5 日 (水)	会計セミナー	公認会計士 林 光行 氏	Zoom オンライン研 修	法人職員
3	9 月 15 日 (火)	会計初任者研修	福井県社会福祉協議会	Zoom オンライン研 修	法人職員
4	10 月 9 日 (金) 10 月 23 日 (金) 10 月 29 日 (木)	人事考課研修	勝見社会保険労務士事 務所	永平寺町 やすらぎの郷	主任級以上 職員 29 名

③職員相互による内部研修の実施

高齢者についての基礎的理解と介護技術、また経営分析に関しての勉強会など職員の知識向上を目的として、内部研修を実施した。

回	開 催 日	研 修 名	講 師	会 場 等	出 席 者
1	9 月 1 日 (火) 9 月 8 日 (火) 9 月 15 日 (火) 9 月 29 日 (火)	介護技術研修	江守常務 介護事業所職員	・ 松岡福祉総合セン ター翠荘 ・ 各デイサービス	新採用職員 5 名
2	R3 3 月 5 日 (金)	経営分析勉強会	江守係長	・ 永平寺老人福祉セ ンター	職員 10 名

④職員確保に向けた取り組み

- ・ 医療福祉専門学校、県立大学等で永平寺町社協の P R 活動を行った。また広報誌やホームページ等にも掲載している。
- ・ 令和 3 年度職員採用試験の実施（6 名採用）

【1 次募集】

- 第 1 次選考 令和 2 年 8 月 3 日 (月) 書類選考
第 2 次選考 令和 2 年 8 月 11 日 (火) 筆記試験・口述試験

【2 次募集】

- 第 1 次選考 令和 3 年 1 月 4 日 (月) 書類選考
第 2 次選考 令和 3 年 1 月 8 日 (金) 筆記試験・口述試験

・内定者オリエンテーション

令和3年度から入局する内定者を対象に、当会の事業内容や昨年度入局した先輩方との座談会を開催した。



オリエンテーション



座談会

⑤その他

・社協内ネットワーク通信を有効活用し、各種研修案内や情報共有などの周知徹底に努めた。

【職員表彰及び褒賞金】

勤続年数が25年を超える職員が退職する場合や、職員が事業遂行に於いて有用な資格を取得した場合、その功績を称えることを目的に、資格取得助成制度に変え、新たに報奨金制度を制定。実施要綱に基づき、該当資格取得者に対し交付を行う。

・介護福祉士・・・3名交付

6) メンタルヘルス対策事業

・平成28年7月より労働安全衛生法に則り常時50名を超える事業所である永平寺事務所において産業医との契約、衛生委員会の設置を行っている。

また、任意設置となる事務所(上志比事務所、松岡事務所)においても衛生推進会議を設置し、労働衛生に関する事項について協議検討を行った。

【衛生推進会議】※上志比地区、松岡地区(ほっこり含む)

回	開催日	会場等	出席者	出席者
1	7月6日(月)	永平寺 老人福祉センター	事務局職員7名	ストレスチェックの 実施について

【衛生委員会】毎月第2火曜日 14:00~15:00の1時間(永平寺事務所)

回	開催日	会場等	出席者	内容
1	5月12日(火)	オンライン会議	産業医1名、 事務局職員4名	パワハラ防止対策、衛生管理計画 について
2	6月9日(火)	永平寺 老人福祉センター	産業医1名、 事務局職員6名	新型コロナウイルス感染予防、ス トレスチェックについて
3	7月14日(火)	〃	産業医1名、 事務局職員6名	福祉避難所運営について

4	8月11日（金）	やすらぎの郷	面談実施	-
5	9月8日（火）	永平寺 老人福祉センター	産業医1名、 事務局職員6名	研修内容について
6	10月13日（火）	永平寺 老人福祉センター	産業医1名、 事務局職員5名	インフルエンザ予防接種について
7	11月10日（火）	松岡デイサービス	産業医1名、 事務局職員2名	松岡デイサービスセンター巡回視察
8	12月8日（火）	上志比デイサービス	産業医1名、 事務局職員2名	上志比デイサービスセンター巡回視察
9	R3 2月9日（火）	永平寺 老人福祉センター	産業医1名、 事務局職員5名	避難訓練について 災害時業務継続に向けた取組について
10	3月9日（火）	永平寺 老人福祉センター	産業医1名、 事務局職員5名	永平寺事務所衛生管理チェック 次期衛生管理計画

※R3.1月開催

・心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）の実施

ストレスチェック検査 期間 令和2年7月16日～18日

永平寺事務所・・・対象60名中59名受検

上志比、松岡事務所・・・対象78名中72名受検

7) 社協会費及び賛助会費の加入促進

多様化する福祉ニーズに迅速に対応していくためには、自主財源の確保は重要である。

会員募集と会費納入の依頼や貴重な自主財源である会費の使途について、区長会、広報誌等を通し説明を行った。今年度は、コロナ過の影響で賛助会費の加入促進は行っていない。また例年、7月中旬に募集を行っていたが、今年度は9月中旬に行っている。

【各会費の推移表】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
普通会費	2,527,000円	2,548,000円	2,398,500円
特別会費	35,000円	75,000円	45,000円
賛助会費	495,000円	520,000円	0円

※ 過去2年間含め、3月31日現在の額

8) 障がい者の雇用促進

・「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき2名を継続雇用中

・ジョブコーチ（福井障害者職業センター）を活用し、定期的な面談を行いながら職場に定着できるよう支援を行った。

9) 仕事と生活の調和

- ・ 職員の家庭生活状況にマッチした多様な制度利用を周知・勧奨しワークライフバランスの調和を図った。
- ・ 有給休暇取得率 53.4%（一人あたりの取得日数約10日） 昨年比15.3%増
- ・ 介護休暇取得 4名（女性4名）
- ・ 子の看護休暇取得 8名（男性5名・女性3名）
- ・ 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応特別有給休暇（男性1名・女性3名）

10) 災害時における各種関係機関との協力体制の確立

【新型コロナウイルス感染症対策会議】

開催回数	会場等	出席者	備考
31回	役場本庁	事務局長	新型コロナウイルス対策による招集

【町地震災害対策室会議】

回	開催日	会場等	出席者	備考
1	9月4日（金）	役場本庁	事務局長	地震災害対策に関する事

【町福祉避難所マニュアル作成ワーキング】

回	開催日	会場等	出席者	備考
1	8月31日（月）	役場本庁	事務局2名	福祉避難所マニュアル作成に関する事
2	9月23日（水）	〃	〃	〃

02 永平寺事務所運営事業

永平寺地区の総合相談窓口として、業務及び調整にあたってきた。

03 企画調整事業

1) 苦情解決体制の整備

【苦情受付解決状況】（苦情受付件数2件；前年度比-1件）

No.	苦情の種類・内容	発生日	解決状況
1	窓口対応に関する事（生活福祉資金貸付）	4月9日	解決済み
2	機能訓練に関する事（通所介護事業所）	7月29日	解決済み

【苦情解決に関する研修】

回	開 催 日	研 修 名	講 師	会 場 等	出 席 者
1	11月12日(木)	福祉サービス 苦情解決機能強化セミナー	福井県運営適 正化委員会	Zoom オンライン セミナー	・ 第三者委員 3 名 ・ 事務局 6 名

【第三者委員会】

回	開 催 日	会 場	出 席 者
1	11月12日(木)	永平寺老人福祉センター	第三者委員 3 名、事務局 6 名

2) リスクマネジメント体制の整備

新採用職員を対象に、リフト付き車両の運転・操作について内部研修を行った。

【車両運転内部講習】

回	開 催 日	会 場	出 席 者
1	8月27日(木)	本 所	事務局職員 2 名

事故件数 14 件（前年度比；±0 件）

内 容	件 数
車両事故（前進時 3、後退時 1）	4 件（前年度 3 件）
介護事故（送迎時 4、施設内 5）	9 件（前年度 9 件）
過誤請求等	0 件（前年度 1 件）
その他（訪問忘れ等）	1 件（前年度 0 件）
合 計	14 件（前年度 14 件）

3) コンピュータネットワークの運用

- ・ 勤怠システムの導入（正職員、嘱託職員）
タイムカードを廃止し、勤務時間や休暇取得の管理をデータ化することで、給与事務の効率化を図り、法に基づいた適正な勤怠管理に努めた。
- ・ デスクネッツ活用によりペーパーレスを図り、稟議の迅速化と費用節減。
- ・ 介護保険システムほのぼの NEXT のクラウド化。

02 企画広報事業

1) 広報紙の発行（「ほほえみ」11 回発行；全戸配布）

毎月発行というメリットを活かし、福祉情報、社協事業情報をわかりやすく、かつタイムリーにお届けするため、他部門の職員と連携し、幅広い情報の提供に努めた。



- 2) フェイスブック・ツイッター（SNS）での情報発信
フェイスブックを活用し、さまざまな年齢層を対象に福祉情報、社協事業情報を発信した
（更新頻度…月1回程度）



03 やすらぎの郷管理運営事業

01 やすらぎの郷管理運営事業

新たな自己財産として今年度より維持管理を行う。今後広く活用される役割を検討模索していく。

04 研修教育事業

1) 社会福祉援助技術実習生等の受入れ

回	開催日	学校名	会場等
1	9月18日（金）	県立大学8名	松岡福祉総合センター翠荘 他各事業所見学
2	10月1日（木）～ 11月5日（木）	県立大学2名	各事業所
3	2月15日（月）～ 3月11日（木）	金城大学1名	各事業所

2) 義務教育教員免許志願者に対する社会福祉施設等の介護体験受入れ

回	開催日	学校名	会場等
1	11月9日（月）～ 11月13日（金）	京都教育大学	松岡デイサービスセンター

05 基金運営事業

01 福祉基金

社会福祉事業の推進にあたり、必要とする費用の財源対策として積み立てる基金

02 地域福祉事業安定化基金

住民の福祉需要に対応し、地域福祉事業の安定的な発展を図るため積み立てる基金

03 介護保険事業安定化基金

介護保険事業運営に必要な財源の安定的確保を図るために積み立てる基金

04 施設管理運営安定化基金

自ら保有する施設の維持管理及び適正な運営に必要な財源の安定的確保を図る目的で積み立てる基金

02 地域福祉活動推進事業

(所轄；地域福祉推進課)

06 地域福祉事業

01 地域福祉事業

(1) 地域福祉活動計画の目標達成に向けた取り組み

(計画期間：令和2年度から7年度の6年間)

本計画をもとに住民同士が支え合えるまちの実現に向け、計画冊子を社協関係者、町内の関係者や関係機関に配布。また、福祉委員研修会、神明2丁目小地域福祉委員会等で説明を行い、住民への普及啓発を図った。

【冊子配布先】

理事・監事・評議員・福祉委員・民生委員児童委員・ボランティアセンター運営委員、生活福祉資金調査委員、小地域福祉委員会、ふれあいサロン、役場、町内小中学校、関係者団体等

<地域福祉活動計画 基本理念>

「みんなと笑顔でたのしく活きるまち」



(2) 福祉委員会の運営

コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月の委嘱式以降、研修会の開催が延期となった。4月に担当地域の状況確認を電話にて行い、6月に福祉委員だより(臨時特別号)を福祉委員宅へ職員が配布がてら、地域の現状を把握する。また地域活動が再開した際、コロナウイルス感染症予防として消毒液(携帯用)を併せて配布する。



消毒配布



福祉委員だより

① 福祉委員研修会の開催

県内のコロナウイルス感染症の状況を鑑み、「新しい生活様式」での研修会を開催。今年度は地区ごとの研修会とせず、会場と時間を設定し福祉委員の選択による参加を図る。福祉委員活動への理解を深め、地域でのアンテナ役として活動するために研修会を企画・開催した。今年度は2回の研修会ではあるが開催ごとに出席者の減少がみられ、福祉委員への福祉啓発が課題である。

【1回目】

No.	開催日時	会場	出席者	定員
1	7月11日(土)9:30~10:30	永平寺開発センター	26名	25名
2	7月12日(日)9:30~10:30	松岡公民館	18名	25名
3	7月17日(金)19:00~20:00	やすらぎの郷	15名	25名
4	7月18日(土)9:30~10:30	永平寺開発センター	17名	25名

【内容】 76/132名(出席率57.5%)

- 1) 社会福祉協議会および福祉委員について
- 2) 高齢者生活支援サービス（配食・外出支援・介護用品等）について（作成したDVD）

【2回目】

No.	開催日時	会場	出席者	定員
1	10月24日(土)9:30~10:30	永平寺開発センター	38名	50名
2	10月25日(日)9:30~10:30	やすらぎの郷	10名	40名
3	10月30日(金)19:00~20:00	松岡公民館	21名	50名

【内容】 69/132名(出席率51.5%)

- 1) 守秘義務・個人情報保護
※円滑に地域で福祉委員会活動をすすめるために個人情報保護法を正しく知る。
- 2) 福祉委員活動報告について

② 福祉委員活動報告書（月報）の活用

- 4月に活動報告未提出の福祉委員への電話での聞き取り調査を行う。
- 6月に福祉委員活動報告フォームの開設。活動報告の提出の選択肢を増す。

(139件の報告有)



<https://forms.gle/tEo77vxZiVpB8vY58>

以上の取り組みが功を奏し、活動報告書（月報）については、前年度比で2倍以上の数を報告いただいた。報告された内容について松岡・永平寺・上志比各コーディネーターがそれぞれ対応にあたり、問題の解消に努めた。

月報提出状況

計 358 件（松岡地区：174 件、永平寺地区：98 件、上志比地区：86 件）

※【令和元年度実績】

計 169 件（松岡地区：105 件、永平寺地区：24 件、上志比地区：40 件）

③ 子ども福祉委員会活動

昨年に引き続き、御陵小学校 4 年生を対象に、自分たちの住み慣れた地域を拠点として、多くの人や世代を超え、様々な福祉に関する活動に子どもたちが参加し、自分たちが住む地域の未来、できることについて考える機会を積極的に図る。

【御陵きらきら探検隊】活動推進委員会の設置

福祉委員、民生委員児童委員、子ども会関係者、学校関係者、ボランティア関係者計 8 名が推進委員として主体的に活動を実施する。

コロナウイルス感染症の影響で 6 月に活動推進委員会を始動。活動メンバーと協議を重ね御陵小学校 4 年生 18 名を「御陵きらきら探検隊」として任命。オリジナルの任命状を作成し、子どもたち一人ひとりに交付、任命する。今後も福祉に関わる様々な活動への参加を継続し、地域貢献を図る。

活動日	活動タイトル
6 月 29 日（月）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 1 回〕
7 月 17 日（金）	「御陵きらきら探検隊」の任命式
8 月 28 日（金）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 2 回〕
9 月 25 日（金）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 3 回〕
10 月 2 日（金）	「御陵きらきら探検隊」ミッション 1
10 月 16 日（金）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 4 回〕
10 月 23 日（金）	「御陵きらきら探検隊」ミッション 2
11 月 6 日（金）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 5 回〕
11 月 13 日（金）	「御陵きらきら探検隊」ミッション 3
R3. 2 月 12 日（金）	「御陵きらきら探検隊」ラストミッション
2 月 12 日（金）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 6 回〕

<広報・啓発>

- ・地元 CATV(えい坊チャンネル)にて、全活動毎の編集映像が随時放映
- ・当会広報誌(ほほえみ)8 月号、11 月号、12 月号、3 月号にて、特集記事(表紙含む)掲載
- ・子どもを中心に地域で取り組む福祉教育推進事業（県社協）による助成金の交付決定

交付決定額 150,000 円 （交付申請額 150,000 円） ※4/19 交付確定

※【令和元年度実績】

交付決定額 100,000 円 （交付申請額 100,000 円）

(3) 小地域たすけあい・支えあい活動の推進

- ・小地域福祉活動の推進

小地域福祉委員会活動助成事業

町内 32 地区（松岡 11 地区、永平寺 12 地区、上志比地区 9 地区）

計 478,500 円の交付申請あり。交付は、次年度当初を予定。

※【令和元年度実績】

町内 30 地区（松岡 10 地区、永平寺 12 地区、上志比地区 8 地区）

計 506,500 円の交付申請あり。

- ・小地域福祉委員会実態調査（電話調査） 回答区 27 区/32 区中

地域でのコロナ禍の中、人が集う区の行事が中止となっている。小地域委員会の状況や活動の有無、また地域で「やっていること（工夫）」を調査する。

結果、委員会の開催回数の減少もしくは中止、また区の行事はほとんどが中止であり、地域内のつながりの希薄化が危惧されていた。緊急事態宣言が解除されてから、徐々にふれあいサロンの再開、外の活動（草刈りなど）を行っており、「新しい生活様式」でのスタイルが定着していた。また令和 2 年度の大雪対応（除雪、見守り）で、日頃からのつきあいや地域とのかかわりによる地域差が伺われた。地域のつながりを存続していくために、その地域に即した「やり方」を小地域福祉委員会と検討していく必要がある。

- ・ふれあいサロンへの実態調査（訪問調査）

各地区担当コーディネーターがふれあいサロンを訪問もしくは電話連絡での状況調査の実施。今後のサロン継続に向けボランティアの運営の仕方、参加者の思い等を調査する。また、職員派遣によるレクリエーション指導も行う。

【調査数：68 件】

- ・生活支援体制整備事業（地域包括支援センター所管）との連携した取り組み

昨年度末に発足した、ボランティアグループ【上志比地区 ひまわりサポートの会】

との連絡・調整を行い、買い物サポート実施に向けた後方支援を行った。

- ・ワンストップサービスの推進強化

各事務所単位に地域福祉コーディネーターを配置し、ワンストップサービスを目標に、より早い課題解決や福祉に関する相談を身近なところでの対応を行った。

相談受付・対応件数 237 件

（松岡事務所：193 件、永平寺事務所：22 件、上志比事務所：22 件）

※【令和元年度実績】

相談受付・対応件数 187 件

（松岡事務所：139 件、永平寺事務所：14 件、上志比事務所：34 件）

- ・「ありがとう お互いさまの まちづくり講座」の開催（随時）

小地域福祉委員会、地域ふれあいサロン等で出前講座を開催するために、内容ごとのパワーポイントを作成し、講座を開催する。

【実績：8 回】（福祉委員研修 4 回、小地域福祉委員会 2 回、地域ふれあいサロン 2 回）

(4) 子ども見守り強化事業（子ども宅食事業）（新規事業）

主任児童委員等の協力を得て、子どもの見守り体制の強化を図り、家庭内の困りごとの早期発見や早期対応を推進するために、1月から上志比地区を対象に、支援を必要とする子ども達（母子父子家庭等）を対象に、交流（お楽しみ会）や食事の提供を行った。

実施日	お楽しみ会の内容	参加人数（児童数）
R3. 1月31日(日)	映画会と千本引き	8名
2月28日(日)	巨大すごろく	13名
3月27日(土)	お弁当作り	12名

02 福祉まつり事業

コロナウイルス感染予防のため、ふれ愛フェスタ 2020 中止。

03 緊急時情報カード設置普及事業（町受託）

・更新地区/実施地区 松岡地区 3/46 永平寺地区 2/26 上志比地区 0/17
5/89 普及率 5.61% (令和3年3月末現在)
※【令和元年度実績】 71/89 普及率 79.8%

04 地域ふれあいサロン事業（町受託）

（サロン通信 臨時号）

実施地区 … 59 か所

※【令和元年度実績】

実施地区 … 60 ケ所



サロンの様子



今年度のコロナ禍においては、住民相互の地域活動や行事等に大きな制限をかけざる得ない状況に置かれ、4月～6月はサロン活動の自粛を余儀なくされる。自粛期間中には、外出機会の低下などで心身面に悪影響を及ぼす方々も見られ、改めて地域交流の重要性を再認識する形となった。緊急事態宣言解除後（令和2年6月）からは、三密対策の徹底を図った上で徐々に再開の動きが見られ、最終的には下欄のとおり、9

割近くのサロンが開催することができている。また、各コーディネーターも開催サロンのほとんどに足を運び、感染予防対策状況の確認や、代表者とのサロン開催についての相談等に時間を割いた。なお、例年２月に開催していたサロン代表者会議（後期）においては、再度のコロナの広がりを鑑み中止とした。

地 区	開催状況* *年度内に１度でも開催実績のあるサロンを対象
松岡地区	24 か所 / 26 か所中 (92.3%)
永平寺地区	17 か所 / 19 か所中 (89.5%)
上志比地区	11 か所 / 14 か所中 (78.6%)
全 体	52 か所 / 59 か所中 (88.1%)

* 職員・講師の派遣は７月から再開。

* サロン開催時は、こまめな消毒や換気、参加者全員への検温や名簿の作成等、徹底した感染症対策を行っている。

* サロン開催の代わりに、サロン代表者等がお弁当やお菓子、飲み物を配布し、安否確認されている地区もある。

* 全サロン再開時の感染予防としてアルコール消毒液を配布する。

サロン代表者会議の開催（感染症対策のため各地区で開催）

No.	開催日時	会場	出席者
1	9月 8 日(火)13:30～14:30	永平寺開発センター	38 名
2	9月 10 日(木)13:30～14:30	やすらぎの郷	5 名
3	9月 15 日(火)13:30～14:30	松岡福祉総合センター	21 名

【内容】

1) コロナウイルス感染予防策について 講師：福井県福井健康福祉センター職員

2) 後期助成金申請についての事務連絡

05 物品貸出事業

当初からのコロナウイルス感染拡大に伴い、予防対策としての三密の徹底による地域内活動の自粛の影響で、物品貸出件数トータルは前年度実績の約 6 割程度にとどまった。一方、福祉車両無料貸し出しについては、ひまわりサポート会 買物支援サポートに供したことも影響し、前年度を上回る実績となっている。

物品貸出トータル件数 … 197 件（前年度比；-148 件）

内訳：マイクロバス利用件数 6 件（前年度比-100 件）

福祉車両 3 台/75 件（前年度比+19 件）

物品 116 件（前年度比-67 件）

（視聴覚機器 12 件、レクリエーション用品 61 件、車椅子 43 件）

06 団体事務事業

住民団体の円滑な運営を補佐し、住民活動の促進を図る。

- ・永平寺町遺族連合会

決算監査、三役会 4月15日(火)

総代会 コロナ感染症予防のため書類報告

福井県戦没者追悼式 コロナ感染症拡大のため中止

三役女性部長会 7月15日（水）町追悼式中止を決議（福祉保健課）

- ・永平寺町英霊顕彰奉賛会

- ・福井県英霊顕彰奉賛会事務局

- ・福井県共同募金会永平寺町共同募金委員会

令和 2 年度共同募金助成交付 4 月 28 日～5 月 1 日の間 感染症対策個別交付

令和元年度決算監査 6月3日(水)

令和2年度第1回共同募金委員会 6月29日(月)

- ・ 令和元年度事業報告、決算報告
- ・ 令和2年度共同募金推進計画
- ・ 令和3年度助成申請団体、事業審査

令和2年度第2回共同募金委員会 コロナ感染症予防の為書面決議

- ・令和3年度助成追加、変更申請
- ・令和2年度街頭募金活動中止

令和2年度赤い羽根共同募金運動 10月1日（木）～翌年3月31日まで

* 広報誌 9 月号で赤い羽根共同募金運動開始、令和元年度助成団体、事業の広報

令和3年度第3回共同募金委員会 コロナ感染症予防の為書面決議

【令和2年度共同募金運動実績】

1. 赤い羽根共同募金実績額 2,232,257 円（令和元年 2,678,502 円）

- ・赤い羽根(一般募金)共同募金助成(4月28日~5月1日)

団体 21 団体 , 620, 000 円

社協 4事業 661,073円

助成金合計額 2,281,073 円

助成金実績額 1,362,147円 15団体、2事業(コロナ感染拡大で辞退団体有)

2. 地域歳末たすけあい募金実績額 2,473,057 円（令和元年 2,467,557 円）

- ・地域歳末たすけあい募金

社協 10 事業

助成金合計額 2,460,000 円

助成金実績額 1,698,587 円 8 事業（コロナ感染拡大で辞退団体有）

07 ボランティアセンター活動事業

01 ボランティアセンター活動事業

(1) ボランティアセンター運営委員会の運営（年2回）

・運営委員会の開催

開催日：6月26日（金） 会場：永平寺老人福祉センター（出席数11名/13名中）

R3.2月26日（金） 会場：えい坊館（出席数11名/13名中）

(2) ボランティア活動に関する相談・登録・コーディネート事業

・ボランティア登録件数及びボランティア相談件数

	令和2年度	令和元年度	備 考
個人登録数	18人	29人	コロナウイルス感染の影響により個人・団体の登録数が減少。
団体登録数	38団体 (458人)	69団体 (1042人)	
相談件数	59件	303件	コロナウイルス感染の影響により、社会福祉施設・地域ふれあいサロン、交流会等でのボランティア活動が自粛。

コーディネート数24件（内容ふれあいサロン10件、福祉教育13件、まつり1件）・
コロナウイルス感染の影響により、地域や町内施設でのボランティア活動の場が減少するも、どの活動場においても感染予防を十分に配慮し活動の場を提供していた。

・社会福祉施設、介護保険事業所の受け入れ担当職員の連絡会議の開催（年1回）

町内福祉施設のボランティア担当者を対象にボランティアセンターへの理解と施設間の連携を図る。

【開催日】：7月3日（金） 会場：松岡福祉総合センター

【参加者】：12名（ひかり苑、いちごデイセンター松岡、アニス松岡、なないろ、はあもにい永平寺、ほっこり、上志比デイ、永平寺デイ、松岡デイ）

【内 容】：各施設のボランティア受入状況を報告し意見交換。

・施設ボランティア調査（4月27日～29日）

ステイホームの中、ボランティアの新しい活動につながるよう、町内各施設にボランティアができる必要物（マスク、タオル、紙のごみ入れ等）などの要望調査を行い、ケーブルテレビを活用し、「雑巾作り」を呼びかけ、町内の施設に配布した。

・マスクを代わりに買いに行きます。（マスク購入支援）事業

実施日：5月7日（木）

コロナウイルス感染症の対策として、福井県はマスク購入券を県内全世帯に配布し、より多くの県民にマスク購入の斡旋。しかし、在宅介護支援センターが行って

いる見守り電話連絡の中で、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等が「マスクを購入したくても販売店へ行く移動手段がなく購入できない」との声があったため、在宅生活への支援として、販売店に出向きマスクの購入支援を行った。

利用者：3名（町内の自助力、互助力を改めて確認）

(3) ボランティア活動に関する啓発・広報、情報提供事業

- ・各種媒体による広報活動（広報誌、ホームページ、ケーブルテレビの活用）
- ・社協広報誌「ほほえみ」にてボランティア募集や活動報告等の記事を掲載。
- ・ホームページにて活動写真の紹介や講座研修の案内など適宜に更新。
- ・福井ケーブルテレビ「社協だより」枠にてボランティア情報や団体の紹介を放送。

また、コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア研修会・講座の開催が延期の中、ケーブルテレビを活用し、役立ち情報やボランティアの活動場として映像で発信する。（1日に3回～4回）

- #1 「町民ひとりひとりが今自宅でできること」5月15日（金）取材
- #2 「ボランティア団体の紹介&高齢者生活支援」6月18日（木）取材
- #3 「ボランティア団体の紹介&高齢者生活支援」6月25日（木）取材
- #4,5 「見て楽しめるDVD わくわくいきいき倶楽部」7月22日（水）取材
- #6 「手話体験講座」9月1日（火）取材



わくわくいきいき倶楽部



職員向け手話体験講座

(4) ボランティア講座、研修会の開催

コロナウイルス感染予防策を心掛け、人数制限や人と人が密にならぬよう研修会を開催。後半は、ボランティア活動の「きっかけ」、ふれあいサロンでの活動の参考を目的に町内の公民館講座の協力を得、自宅でできる趣味講座を企画した。

- ・職員向け手話体験講座 協力：松岡手話サークル友情

手話でのあいさつや災害時のろうあ者へのコミュニケーションについて学ぶ

開催日：9月1日（火）（12名参加）会場：永平寺デイサービスセンター

9月8日（火）（10名参加）会場：永平寺老人福祉センター

- ・応急手当普通救命講習 協力：永平寺町消防職員

開催日：11月19日（木）（5名参加）会場：永平寺開発センター消防ホール①②

11月27日（金）（11名参加）会場：永平寺開発センター消防ホール①②

- ・安心・安全自動車運転者研修
開催日：12月10日（木）（9名参加）
会 場：福井県運転教育センター



（運転者研修の様子）

- ・押し花講座 協力：松岡押し花フリージア会
開催日：R3.2月16日（火）（12名参加）会場：松岡公民館 視聴覚室・講義室
- ・絵手紙講座 協力：楽楽絵手紙クラブ
開催日：R3.2月24日（水）（8名参加）会場：松岡公民館 視聴覚室・講義室

（5）福祉教育・学習の推進（地域ぐるみ福祉推進事業）

- ・小中学校、地域での福祉教育・体験教室の支援、講師派遣

月日	実施校	人数	学習内容	講師
4/20(月)	各小中学校		本年度の福祉教育の案内	
7/8(水)	各児童クラブ		本年度の福祉教育の案内	
9/24（木）	吉野小学校	20人	点字体験学習	松岡サンライト
10/7（水）, 9（金）	松岡小学校	い組 32名 ろ組 33名	手引き体験学習	県立盲学校職員
10/21(水), 23(金)	松岡小学校	い組 32名 ろ組 33名	点字体験学習	松岡サンライト
11/2（月）	志比南小学校	14名	高齢者疑似体験学習	社協職員
11/4（水）	志比南小学校	14名	車いす体験、当時者からのお話	南部トシエ氏
11/4（水）, 6（金）	松岡小学校	い組 32名 ろ組 33名	手話体験学習	手話サークル「友情」
R3.2/1（月）	志比小学校	23名	アイマスク・盲導犬体験学習	光道園職員 早苗ゆきこ氏
2/8（月）	志比小学校	23名	高齢者・車いす体験学習	社協職員
2/15（月）	志比小学校	23名	点字体験学習	松岡サンライト
3/2（火）	志比小学校	23名	手話体験学習	手話サークル「友情」

(6) 災害時における福祉救援体制の整備

・スノーバスターズの登録

永平寺中学校 42 名

松岡中学校 47 名

実施日：R3. 1/21（木）

永平寺中学校生徒及び先生（16 名）参加。

中学校周辺ひとり暮らし高齢者宅（希望者）の玄関から生活道路までの除雪作業を行った。



(7) 収集ボランティア活動の促進

・ペットボトル、プルタブの回収および回収活動の促進を図る。

4 月～3 月までの収集量 エコキャップ 1360 kg → ワクチン 680 人分

プルタブ 140 kg → 4,000 円

月日	団体名	エコキャップ	プルタブ
7/15(水)	年金受給者協会	70.2 kg	5.4 kg
9/1(火)	志比北小学校	32.6 kg	—
10/21(水)	松岡小学校	33.5 kg	—
11/16(月)	御陵小学校	20 kg	10 kg
11/25(水)	山地区、杉ノ木台 ゴルフクラブ	38.9 kg	3.5 kg
11/30(月)	志比南小学校	16.8 kg	5 kg
12/21(月)	年金受給者協会	60.4 kg	8.8 kg

*新規：れんげの里に、エコキャップの回収箱を設置する（5/12）

上志比公民館に、エコキャップ・プルタブの回収箱を設置する（10/5）

永平寺町役場（永平寺支所）に、エコキャップの回収箱を設置する（R3. 1/25）

(8) 災害復興支援プロジェクト

プルタブ換金（4,000 円）→熊本地震義援金として寄付（赤い羽根共同募金として）

(9) 災害ボランティアセンター連絡会の事務局運営

町内のボランティア団体、行政や関係機関との普段から顔の見える関係づくりを図り有事の際の連携強化を目的に開催する。

【災害ボランティアセンター連絡会】

開催日：8 月 28 日（金） 会場：えい坊館 運営委員：9 名/10 名中

内 容；福井県社会福祉協議会職員より 7 月の九州豪雨での災害ボランティアセンターの現状報告および全国社会福祉協議会のコロナウイルス感染予防の留意点の説明を受け、コロナウイルス感染予防策を取り入れた災害ボランティアセンターマニュアル作成の検討を行う。

【訓練・研修会の参加】

10/18（日）坂上地区防災訓練への参加 1名参加

10/23（金）嶺北市町災害ボランティアセンター研修会 2名参加

（町職員1名、職員1名）

12/25（金）市町災害対応力強化研修 1名参加

R3. 3/6（土）災害ボランティアセンター運営スタッフ研修

5名参加（運営委員1名・職員4名）

(10) ボランティア活動保険の加入窓口

・保険料助成事業の実施（R3. 3月末現在）

助成団体保険加入者 38団体 458名（昨年度実績：63団体）

個人保険加入者 18名（昨年度実績：29名）

その他保険団体加入（自費加入）26団体 339名

08 共同募金配分金事業

01 一般配分金事業 （社協以外の助成団体 実績 15/21 団体申請）

(1) 障がい児（者）の社会参加と保護者の親子リフレッシュ事業（中止）

(2) 児童遊具の修繕等助成事業

1件 60,000円（1地区）

(3) 地域生活支援事業（障がい児（者））（中止）

02 歳末配分金事業

(1) ひとり暮らし高齢者への歳末おせち料理配布事業

配布期間 12月28日（月）、29日（火） 対象者 191名 協力：民生委員児童委員

(2) ひとり暮らし高齢者の集い（中止）

(3) 在宅重度障がい者等への支援金配布（12月実施）

対象者 81名 協力：民生委員児童委員

(4) 生活困窮世帯への支援金配布（12月実施）

対象者 13名 協力：民生委員児童委員

(5) 母子父子家庭児童への図書券贈呈（12月実施）

対象者 73名 協力：民生委員児童委員

(6) 障害児者福祉施設への激励訪問事業

12月1日（火）～11日（金） 計 13事業所 対象者 32名

※今回、コロナ感染予防のため、社協職員のみで実施

(7) 会食サービスの実施（中止）

(8) 家屋漏電点検事業

11月5日（木）～12月20日（金）にかけて実施。 実績 22件

(9) 歳末たすけあい事業（中止）

(10) ひとり暮らし高齢者訪問事業（変更）

例年実施しているひとり暮らし高齢者の集いや、会食サービスがコロナウイルス感染の影響で開催が難しく、「ひとり暮らし高齢者訪問事業」に変更して、高齢者のコロナ不安、コロナ詐欺の増加、熱中症や脱水症、孤独死の予防のために民生委員の協力のもと実施。

実施期間：10月～12月 対象人数：416名 協力：民生委員児童委員

03 災害配分金事業

03 福祉サービス利用支援事業

（所管；地域福祉推進課）

09 福祉総合相談事業

(1) 「心配ごと相談」の開設

・各社協窓口で対応。必要に応じて民生委員児童委員につなぐ（相談数は0件）

【つながる相談所「スマホ相談会」】 8月28日（金）

スマートフォンの操作方法を通して、相談を行う。相談3件

(2) 弁護士による無料法律相談所開設

・各地区持ち回りで毎月開催する。

・コロナウイルス感染症拡大のため、4、5月は開催中止し、弁護士無料電話相談へ2件に繋げる。

6月から13回開催。相談者 計48名（昨年度15回開催51名）

(3) 講座・セミナーの開催

・コロナ禍により、集合形式のセミナーを断念。永平寺町行政チャンネルにて、町民の皆様に知っていただきたい情報を発信する。

第1回公開セミナー 11月1日～

「詐欺の話は突然に」

「交通ルール 正しく守ってますか」

講師：福井警察署 生活安全課

交通第二課

第2回公開セミナー 3月15日～

「ゲーム障害について」

講師：依存症研修所・藍里病院 吉田 精次 氏

10 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

- ・利用者数：11 人（認知症高齢者 7 人、精神障がい者 3 人、知的障がい者 1 人）
※【令和元年度実績】利用者 … 14 人
- ・新規契約締結件数：3 件
- ・契約終了件数：6 件（成年後見移行 3 名 死亡 1 名 施設入所 1 名 自立 1 名）
- ・相談援助件数：388 件（昨年度 402 件）
- ・内部研修の実施
 - 6 月 4 日（木）えいへいじ居宅介護支援事業所（永平寺事務所） 2 名受講
 - 6 月 9 日（火）えいへいじ居宅介護支援事業所（本所） 2 名受講
 - 6 月 19 日（金）えいへいじ訪問介護ステーション 15 名受講
- ・生活支援員研修会
 - R3. 2 月 2 日（火）支援員 8 名参加
- ・福祉サービス利用援助事業にかかる現地調査（運営適正化委員会）
 - R3. 1 月 26 日（火）松岡福祉総合支援センター

11 資金貸付事業

令和 2 年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業を余儀なくされた方々を対象とした生活福祉資金の特例貸付（通称コロナ特例）が新設された。全国一斉の対策として実施されており、当会も特例貸付等の経済的支援を行った。貸付件数実績は下記の通りとなるが、相談者の悩みや困りごとと生活環境等は様々であり、今後は自立に向けた寄り添った支援が必要となる。

01 緊急小口福祉資金貸付事業（社協事業）

- (1) 一時的な生活困窮に陥った人を対象に緊急に資金を貸し付け世帯の自立更正を図る。令和 2 年度においては、2 件の貸付実績があったが、いずれも年度内での返済となった。

貸付件数、残高 2 件 金額 0 円

- (2) フードバンク食品配布

新型コロナウイルスの影響に伴い、必要とする世帯に緊急的に食品を支援するため募集したところ県民生協様をはじめ町民の皆様から多くの食品の提供を受け、生活困窮者、帰省できない学生、児童館の子どもたちに配布しました。

（集まった食品数＝438 点） 食糧配布支援 件数＝75 人

02 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

◎コロナ特例資金貸付事業（県社協受託）

新型コロナウイルス感染の影響によって収入の減少、休業、失業された方向けに「緊急小口資金」「総合支援資金」の特例貸付が4月20日より全国一斉に社会福祉協議会により取り扱いが開始される。

※特例貸付相談件数		114 件
申請件数		74 件
申請決定件数		70 件
決定金額		23,420,000 円
（内訳）緊急小口資金	46 件	8,650,000 円
総合支援資金	30 件	14,770,000 円

(1) 生活福祉審調査委員会・福祉サービス利用料負担軽減審査委員会

- 第1回 開催日：6月29日（月） 会場：やすらぎの郷 8名/8名中
第2回 書面決議：10月15日（木） 審査事項：教育支援金1名（結果：適）
第3回 書面決議：12月15日（火） 審査事項：教育支援金1名（結果：適）
第4回 開催日：R3.3月18日（木） 会場：松岡福祉総合センター 8名/8名中
審査事項：令和3年度福祉サービス利用料負担軽減 2名（結果：適）

(2) 各支部民生委員会での制度研修会（全体定例会でコロナ貸付の説明）

- 開催日：7月11日（土） 会場：永平寺開発センター
開催日：R3.3月27日（土） 会場：永平寺開発センター

(3) 生活福祉資金の広報活動 10回（内容：コロナ貸付、教育支援金）

- (4) 貸付相談 144 件
(5) 償還指導 4 件
(6) 貸付中相談 0 件
(7) その他 3 件

12 福祉サービス利用料負担軽減実施事業

- ・低所得者を対象に利用負担金の補助を行う（1か月限度額10,000円）。
利用者：3名（前期比増減なし）

13 障害者計画相談支援事業

・ 障がい者（児）や難病疾患者の自立した生活を支えるため、当事者が抱える課題の解決に向け、多職種と連携強化を図り、ケアマネジメント、サービス等利用計画の作成を行う。また、契約利用者は前年度比で 20 名増となり、増加の一途をたどっている。特に障害児に関するニーズの広がりが顕著で、学校機関等との連携もますます必要性を増している。経営的な視点で見ても、障害福祉サービス事業収入が前年度との比較で約 40%程度増収するなど堅調に推移した。今後も、障がい福祉サービスを必要とする方々は多く見込まれることから、それぞれ個々の多様なニーズに応じていくため、事業所のさらなる体制強化および専門性の向上が求められる。

- ・ 職員体制：管理者 1 名（相談支援専門員ならびに地域福祉コーディネーターを兼ねる）
相談支援専門員 2 名（前年度比±0）
- ・ 契約利用者状況：計画相談支援…59 名（前年度比 +3 名）
障害児相談支援…43 名（前年度比 +17 名）
- ・ 契約終了:10 名（一般就労移行、介護保険へ移行、死亡のため、施設入所など）
- ・ 日常相談件数 4,435 件（訪問 1,072 件・来訪 52 件・電話 2,820 件・メール 491 件）
- ・ 令和 2 年度 福井県相談支援従事者現任研修 2 名受講
- ・ 令和 2 年度 福井県相談支援従事者初任者研修 2 名受講

14 成年後見サポートセンター事業

日常生活自立支援事業の利用者が、判断力の著しい低下により本サービスでの対応が困難となり成年後見制度の移行となったため、申立て手続きの支援を行う。

後見人申立て 3 件

(1) 相談事業 5 件 内容:成年後見制度について

(2) 法人後見人として受任（必要があれば委員会を開催する）

(3) その他

成年後見制度の説明、対象者の相談や成年後見制度の利用に結び付けるために地域包括支援センターとの連携により支援を行う。

圏域内の高齢者等が安心して生活することができるよう成年後見制度の利用（法人後見）向けの地域連携ネットワークづくりや中核機関設置等の体制整備について協議。

- ・ 圏域の中核機関に関する社協同士の情報交換会への出席

開催日：10/15、12/2 会場：福井県社会福祉センター

※嶺北圏域 福井市、あわら市、勝山市、大野市、鯖江市、越前市、
永平寺町、南越前町、池田町、越前町

04 在宅福祉サービス事業

(所轄；在宅福祉サービス課)

◇各事業所別研修受講歴

・今期は新型コロナウイルス感染症の影響により、研修自体が中止、延期となるケースが多くみられたが、Web 型（動画配信等）の研修形態での受講を積極的に行った。研修受講者は新採用者（R2.4月採用）を中心に、多くの職員が年間研修計画に基づき、計画的な受講ができた。

月 日	内 容	参加事業所	参加者数
R2.9～	介護職員のための介護技術向上研修	松岡デイサービス	1名
R2.7	新入局職員マナー研修	永平寺デイサービス	1名
R2.10	感染症対策研修		1名
R2.11～	生涯研修課程 初任者研修		1名
R2.12	災害時における栄養・食生活支援研修		1名
R3.1	介護職員のための介護技術向上研修		1名
R2.8	リーダーの役割とその職務	上志比デイサービス	2名
R2.9	リーダー・管理職のための必須知識と実践力		1名
R2.10	多職種協働のための介護福祉士の役割		1名
	自立を意識した着替え、入浴介助		1名
	疾病理解と身体観察のポイント		1名
R2.8～	相談支援従事者初任者研修		1名
R2.12	災害時における栄養・食生活支援		1名
	制度も要求する介護業務の生産性向上と工夫		1名
R2.6	精神保健福祉従事者研修	訪問介護ステーション	1名
R2.8	虐待に至らないために 短期専門講習		1名
R2.10	認知症介護基礎研修		1名
R2.11	福井県強度行動障害支援者養成研修（基礎）		1名
R3.3	福井県強度行動障害支援者養成研修（実践）		1名
R2.9	手話講座	えいへいじ居宅	5名
R2.10	在宅生活を支えるためのコロナ禍における適切な事業運営の確保のために		2名
R2.12	介護者支援を考える		1名
R2.12	市町村災害時対応力強化研修		1名
R3.2	地域包括・介護支援専門員研修		3名
R3.3	多職種連携合同研修会		3名
R2.10	新加算取得支援セミナー	在宅福祉サービス課	2名
R2.12	市町災害時対応力強化研修		2名
R3.2	2021年度介護報酬改定ポイント		2名

R3. 2	感染症対策セミナー	在宅福祉サービス課	2 名
R3. 3	福祉施設における BCP セミナー		2 名

◇在宅福祉サービス課所管事業所職群別会議の開催

【在宅係長会議】

在宅福祉サービス課長及び各介護保険事業所係長（所長）により構成。各事業所における情報共有や課題整理を行い、迅速に問題改善や今後の強化策等を検討する。

回	開 催 日	会 場 等	協 議 内 容
1	4 月 24 日（金）	書面開催	新型コロナウイルス感染防止対策
2	5 月 29 日（金）	永平寺老人福祉センター	各事業所の課題整理、年間研修計画
3	6 月 26 日（金）	〃	課題改善案、介護報酬特例区分請求の情報共有
4	7 月 17 日（金）	〃	休暇取得率の検証、事故・ヒヤリハット検証
5	8 月 28 日（金）	〃	サービス提供内容の見直し、リハビリ強化
6	9 月 25 日（金）	〃	感染症対策備蓄品、タブレット導入検討
7	10 月 23 日（金）	〃	上半期振り返り、下半期の取組み
8	11 月 27 日（金）	〃	苦情及び事故報告
9	12 月 18 日（金）	書面開催	県指導監査実施指導について
10	R3 2 月 26 日（金）	〃	次年度計画、予算 雪害での課題について
11	3 月 26 日（金）	〃	新体制に向けて

※R3. 1 月は新型コロナ感染予防のため未開催

◇介護保険施設等に係る実施指導

介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）第 24 条の規定に基づき、県地域福祉課による実施指導

	実 施 日	対象事業所	出 席 者
1	R3 3 月 23 日（火）	えいへいじ訪問介護ステーション	所管課長、事業所管理者等
		えいへいじ訪問入浴介護事業所	
		永平寺デイサービスセンター	
2	3 月 24 日（水）	松岡デイサービスセンター	
		上志比デイサービスセンター	

◇業務管理体制の整備に関する一般検査

	実 施 日	対象事業所	出 席 者
1	R3 3 月 24 日（水）	上志比デイサービスセンター	法令順守責任者・事業所職員

15 ホームヘルプ事業

《01 ホームヘルプ事業》

- ・ 営業日数 365 日（前年度比；-1 日）
- ・ 延べ利用件数 722 件（前年度比；-9 件）
- ・ 延べ訪問回数 8,800 回（前年度比；-435 回）



↑ 県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業にて
購入した物品等

令和2年度 要介護度別利用者数（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	26
要支援1	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	4	3	36
要支援2	9	8	7	6	6	6	5	8	9	8	8	8	88
要介護1	19	19	18	19	16	16	15	16	14	14	12	14	192
要介護2	16	14	16	16	17	19	17	18	18	15	16	16	198
要介護3	10	10	10	7	6	6	8	7	8	8	8	7	95
要介護4	2	3	3	3	1	2	2	0	1	2	2	3	24
要介護5	3	3	2	5	7	6	7	7	6	6	4	7	63
合 計	64	62	61	61	58	60	60	61	61	58	56	60	722

《02 自立支援居宅介護事業》

- ・ 延べ利用件数 230 件（前年度比；+22 件）
- ・ 延べ訪問回数 1,635 件（前年度比；+130 件）

16 介護保険対象外サービス事業

- ・ 延べ利用件数 64 件（前年度比；-4 件）
- ・ 延べ訪問回数 87 件（前年度比；-122 件）

17 デイサービス事業

01 松岡デイサービス事業

- ・ 定員 45 名
- ・ 開所日数 305 日（前年度比；-4 日）
- ・ 延べ利用件数 764 件（前年度比；-111 件）
- ・ 延べ利用人数 8,738 人（前年度比；-953 人）
- ・ 稼働率 63.6%（前年度比；-6%）



1 月大雪時の除雪作業

令和２年度 要介護度別利用者数（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	2	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0	0	16
要支援１	1	1	2	3	1	1	1	1	0	0	0	0	11
要支援２	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	78
要介護１	17	17	17	17	17	17	17	17	19	19	19	17	210
要介護２	17	17	17	17	18	16	17	17	15	17	16	18	202
要介護３	11	11	10	9	8	9	10	10	9	9	9	9	114
要介護４	7	8	8	7	7	6	6	7	7	6	6	7	82
要介護５	4	3	5	5	4	5	5	5	4	4	4	3	51
合 計	65	65	67	66	63	62	65	65	62	62	61	61	764

02 松岡身体障がい者デイサービス事業

- ・ 開所日数 305 日（前年度比；-4 日）
- ・ 延べ利用件数 2 件（前年度比；+1 件）
- ・ 延べ利用人数 293 人（前年度比；+95 人）

03 永平寺デイサービス事業

- ・ 定員 40 名
- ・ 開所日数 306 日（前年度比；-3 日）
- ・ 延べ利用件数 823 件（前年度比；+34 件）
- ・ 延べ利用人数 8,955 人（前年度比；+307 人）
- ・ 稼働率 73.1% （前年度比；+3.2%）



ランチバイキングの様子

令和２年度 要介護度別利用者数（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	2	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	26
要支援１	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	22
要支援２	6	4	4	5	5	5	4	4	5	7	8	8	65
要介護１	24	23	26	25	22	22	24	24	24	22	18	20	274
要介護２	18	18	19	18	17	17	18	18	16	16	17	17	209
要介護３	10	10	11	8	8	8	9	7	8	9	9	9	106
要介護４	9	8	9	8	8	8	9	9	9	8	7	7	99
要介護５	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	22
合 計	74	69	74	69	66	66	70	68	67	68	65	67	823

04 永平寺身体障がい者デイサービス事業

- ・ 開所日数 306 日（前年度比；－3 日）
- ・ 延べ利用件数 3 件（前年度比；+1 件）
- ・ 延べ利用人数 115 人（前年度比；－77 人）



サーマルカメラ設置

05 上志比デイサービス事業

- ・ 定 員 35 名
- ・ 開所日数 304 日（前年度比；－5 日）
- ・ 延べ利用件数 692 件（前年度比；－36 件）
- ・ 延べ利用人数 7,717 人（前年度比；－461 人）
- ・ 稼働率 72.5%（前年度比；－3.1%）

令和 2 年度 要介護度別利用者数（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	3	3	3	3	3	3	3	1	3	2	2	2	31
要支援 1	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
要支援 2	4	4	3	3	2	3	3	3	3	3	4	3	38
要介護 1	17	17	21	20	18	17	17	17	13	12	11	11	191
要介護 2	19	18	19	22	23	21	22	21	20	20	22	22	249
要介護 3	8	9	9	6	6	7	8	8	7	6	4	4	82
要介護 4	2	3	3	5	3	4	3	1	3	2	2	4	35
要介護 5	4	3	3	3	4	5	6	7	5	5	4	5	54
合 計	57	57	62	63	60	61	64	59	55	51	50	53	692

18 小規模多機能型居宅介護支援事業

- ・ 開所日数 309 日（前年度比；－16 日）
- ・ 延べ利用人数 2,703 人（前年度比；+22 人）
- （内訳） 通所 2,518 人（前年度比；+74 人）
- 泊り 8 人（前年度比；－22 人）
- 訪問 177 人（前年度比；－30 人）
- ・ 登録者数 14 名（前年度比：1 名）
- ・ 運営推進会議 6 回開催



内装リニューアル！

（R2 年 5・7・9 月、R3 年 1 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決）

令和２年度登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1						1	1	1	1	1	1	1	7
要支援 2													
要介護 1	5	5	4	4	4	4	4	4	4	5	5	6	54
要介護 2	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	4	75
要介護 3	3	3	4	3	3	4	5	4	3	3	3	4	42
要介護 4													
要介護 5													
計	15	15	15	14	14	15	16	15	14	15	15	15	178
令和元年度	17	17	16	15	16	15	17	16	16	14	14	13	186

令和２年度提供回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通 い	219	208	225	218	206	221	234	217	199	160	188	223	2,518
宿 泊	0	0	2	0	0	0	0	2	1	1	1	1	8
訪 問	8	8	9	0	0	0	0	15	43	32	26	36	177
計	227	216	236	218	206	221	234	234	243	193	215	260	2,703
令和元年度	261	260	216	234	245	239	245	229	203	180	181	188	2,681

19 訪問入浴介護事業

01 えいへいじ訪問入浴介護事業

- ・ 延べ利用回数 104 回（前年度比；-36 回）
- ・ 利用者数：2 名（R3. 3. 31 現在）

02 障がい者訪問入浴介護事業

- ・ 延べ利用回数 266 回（前年度比；-24 回）
- ・ 利用者数：3 名（R3. 3. 31 現在）

20 居宅介護支援事業

01 えいへいじ居宅介護支援事業

1) 居宅介護支援事業（要介護認定者）

・ ケアプラン作成件数 3,640 件 （前年度比；-8 件）

2) 要介護認定調査（町受託）

・ 調査件数 272 件 （前年度比；+19 件）

3) 介護予防サービス計画作成（地域包括支援センターより受託）

・ 予防プラン作成件数 263 件 （前年度比；+7 件）

令和 2 年度 要介護度別利用者数（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	3	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	26
要支援 1	7	7	7	8	10	9	9	10	8	7	8	7	97
要支援 2	13	13	13	10	11	11	11	11	12	11	12	12	140
要介護 1	110	105	105	113	108	107	108	107	107	100	92	98	1,260
要介護 2	94	92	92	104	103	107	100	99	93	93	95	98	1,170
要介護 3	53	54	54	48	51	51	55	51	53	51	46	44	611
要介護 4	33	33	34	38	35	37	35	34	38	36	36	38	427
要介護 5	14	15	15	13	13	14	15	15	13	15	13	17	172
合 計	327	320	333	336	333	332	335	329	326	316	305	317	3,903

21 高齢者生活支援事業

01 配食サービス事業（町受託）

・ 実施回数 各地区： 146 回（前年度 141 回；+5 回）

・ 延べ利用実績数 9,618 食（前年度比；+1,278 食）

・ 地区別延べ利用数 各地区 週 3 回

令和 2 年度 実績数	地 区	配食数(食)	左記のうち セルフ事業分	前年度比
	松岡地区	6,146	2,059	1,185
	永平寺地区	1,102	1,102	198
	上志比地区	2,370	0	-105
	3 地区合計	9,618	3,161	1,278

02 介護用品支給事業（町受託）

- ・ 延べ利用件数 4,093 件（前年度比； +602 件）
- ・ 延べ利用枚数 343,228 枚（前年度比； +34,350 枚）

03 寝具洗濯サービス事業（町受託）

- ・ 利用者数 一人暮らし高齢者 150 名（前年度比； + 54 名）
要介護 3 以上高齢者 25 名（前年度比； ±0 名）
要介護 3 以上内訳

要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
15	4	6	25

04 外出支援サービス事業（町受託）

- ・ 延べ利用件数 4,540 件（前年度比； -680 件）

05 家族介護者教室事業（町受託）

○介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等について知識・技術を学ぶことを目的とした教室。コロナ禍での開催のため、感染予防対策を徹底の上開催。

<第 1 回家族介護者教室>

◇開催日：令和 2 年 9 月 30 日（水）

◇内 容：「知って得するくすりの話」

◇講 師：木村薬局 薬剤師 木村 嘉明氏

◇参加者：32 名

<第 2 回家族介護者教室>

◇開催日：令和 3 年 3 月 18 日（木）

◇内 容：「落語講演」

◇講 師：はやおき亭貞九郎氏

◇参加者：32 名

※サロン参加者含む



◇高齢者生活支援事業についての検討会議

日 時	場 所（電話対応含む）	検 討 内 容
R2. 12. 4	役場本庁	介護用品支給：配達・集金の手間改善策について
R3. 1. 7	永平寺町社協 永平寺支所	介護用品支給（松岡地区）：配達困難業者発生による対策
R3. 1. 20	永平寺町社協 永平寺支所	介護用品支給（松岡地区）：配達時注意事項の作成を検討
		介護用品支給（松岡地区）：支払い方法の変更検討（口座振替）

22 施設管理運営事業

01 永平寺老人福祉センター運営事業

- ・ 開所日数 198 日（前年度比； -36 日）
 ※コロナ感染予防のため令和 2 年 6 月 2 日(火)まで閉館(R2.3/24～)
 令和 3 年 1 月 12(火)～15(金)まで閉館(大雪のため)
 会議等の利用のみあり
- ・ 延べ利用者数 2, 898 人（前年度比； -2, 353 人）

永平寺老人福祉センター 入館者数推移

	令和 2 年度			令和元年度		平成 30 年度	
	収入額	入場者数	増減	収入額	入場者数	収入額	入場者数
4 月	0	31	-429	55, 150	460	33, 650	326
5 月	0	40	-395	37, 500	435	26, 250	367
6 月	9,980	205	-253	36, 300	458	36, 750	338
7 月	30,120	276	-232	43, 650	508	42, 950	304
8 月	33,880	280	-273	37, 450	553	27, 150	428
9 月	31,300	332	-66	41, 100	398	37, 100	335
10 月	29,950	354	-189	43, 850	543	35, 800	413
11 月	27,150	312	-162	42, 800	474	38, 300	426
12 月	38,430	334	1	43, 200	333	36, 150	505
1 月	15,480	145	-324	32, 800	469	48, 800	506
2 月	23,950	254	-92	29, 550	346	48, 200	506
3 月	33,900	335	61	51, 550	274	56, 650	708
合計	274,140	2,898	-2,353	494, 900	5, 251	467, 750	5, 162

永寿苑送迎車両乗車延べ人数

永寿苑～志比～永寿苑 2, 564 人 （前年比-1, 331 人）

禅の里送迎車両乗車人数

禅の里～永寿苑～翠荘 1, 026 人（前年比-1, 726 人）

05 地域包括支援センター（町受託）

（所管；地域包括支援センター）

23 包括的支援事業

1. 総合相談・支援事業

（1）総合相談業務

年 度	延べ人数
R 元年度	1,140 件
R 2 年度	1,559 件（+419 件）

（2）総合相談窓口としての周知

地域包括支援センターについて広報活動を行った。

本年度はコロナ禍の中、地域に出向く広報活動は行わず広報誌での周知を行った。

2. 権利擁護業務

（1）成年後見制度

年 度	人数	延べ相談・対応件数
R 元年度	3 人	6 回
R 2 年度	10 人（+7 件）	26 回

（2）高齢者虐待への対応

年 度	実人数	延べ相談・対応件数	虐待者
R 元年度	22 人	53 回	同居家族:18 名 その他:4 名
R 2 年度	13 人（-9 人）	48 回（-5 件）	同居家族:11 名 その他:2 名

（3）支援困難事例への対応

介護支援専門員やサービス事業所からの相談により、認知症や虐待などを起因とする困難事例に対して、地域ケア会議の開催や医療機関、その他の機関と連携を持ちながら、解決に向けて対応を行った。

相談実人数 9 人 （延べ 34 件）

（4）老人福祉施設などへの措置支援

独居で家族の支援が受けられない高齢者に対し、入退院支援や地域ケア会議の開催、家族との接点を模索しながら、老人福祉施設への措置の支援を行った。

措置支援数 3 人

3. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

(1) 地域密着型サービス事業所との連携

地域密着型サービス事業所の運営推進会議に参画し、情報共有を行いながら、事業所や地域の関係者とのネットワーク強化に努めた。

- ・グループホーム なないろ 4 回
- ・小規模多機能 なないろ 4 回
- ・小規模多機能型居宅介護事業所 ほっこり 6 回
- ・いちごデイセンター松岡 2 回

(2) 介護支援専門員に対する支援（町内の介護支援専門員）

(a) ケアマネ連絡会の開催

町内居宅介護支援事業所が一同に集まる機会を設け、新たな介護保険情報や福祉保健課からの連絡事項の伝達、研修会の案内や介護支援専門員の情報交換を行った。

- ・毎月 1 回開催

（新型コロナウイルス感染症の影響で 4、5 月は中止、6 月より定例開催）

(b) 介護支援専門員が抱える困難事例の解決や、日々のケアマネジメント活動をよりしやすくするために、個別の相談に応じ、解決に導いた。

年 度	延べ人数
R 元年度	72 件
R 2 年度	55 件 (-17 件)

(c) 研修会

日 時	内 容	参加人数
10 月 15 日 (木)	難病療養者支援について	21 名
R3. 2 月 15 日 (月)	家族介護者支援について	25 名

(3) 地域ケア会議

(a) 個別ケース検討会議

介護支援専門員・民生委員等から、支援困難な事例の相談に応じ、地域ケア会議を開催し、解決の糸口を探り、対応に向けての話し合いを行った。

年 度	数
R 元年度	5 事例
R 2 年度	3 事例 (-2 事例)

(b) 自立支援ケア会議（月 1 回開催）

年 度	数
R 元年度	6 事例
R 2 年度	15 事例 (+9 事例)

※新型コロナウイルス感染症の影響で 4～6 月は開催中止した。

4. 在宅医療・介護連携推進事業

(1) 関係機関との連携体制構築支援

多職種連携研修会開催

月 日	内 容	参加者数
3月10日（水）	見える事例検討会	36人（20事業所）

※感染予防のため、映像をオンラインで映すなど工夫して実施。

(2) 住民への在宅ケア普及啓発講演会の開催

月 日	内 容	参加者数
10月16日（金）	「医師との上手な付き合い方は？～トリセツ～」 ～住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～	39人



<多職種連携研修会>



<在宅ケア普及啓発講演会>

(3) 在宅医療介護連携のためのルール作り

在宅ケアを担う医療と介護が連携し、病院から在宅へ切れ目ない支援を実施することを目的に、患者情報の共有や提供ルールについて検討。

- ・福井県入退院支援ルール（令和2年4月版）の周知。
- ・入退院支援ルール検討会が新型コロナ感染拡大防止の観点から中止、書面で意見提出。

(4) 永平寺町立在宅訪問診療所運営協議会への参加

5. 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを配置し、住民が主体となった支え合い活動を推進。

地域全体で高齢者等の生活を支える体制づくりをすすめた。

(1) 住民主体の支え合い活動、生活支援サービスなど社会資源開発に向けた取り組み

○『上志比地区ひまわりサポートの会』の活動支援

- ・例会への出席。
- ・「買物送迎サポート」の始動にかかる各種支援。
- ・「見守り・声かけ活動」の始動にかかる各種支援。

※「見守り・声かけ活動」についてはR3.4.1よりスタートする予定。

○『志比北地区地域支え合い座談会』の開催

- ・随時コアメンバーのもとへの個別訪問等を実施。
- ・座談会の開催。（11/2、12/7、1/25、3/8）



(2) 先進地視察研修の実施

- ・他市町の地域住民による支え合い活動等の実態を探り、『上志比地区ひまわりサポートの会』や『志比北地区地域支え合い座談会』の躍進につなげることを目的として実施。

◎『上志比地区ひまわりサポートの会』を対象とした視察研修

日 時	6月22日(月) 8:00~16:00
行き先	福井県三方上中郡若狭町
参加者	『上志比地区ひまわりサポートの会』メンバー10名、社協職員8名、行政職員1名
内 容	『明倫買物クラブ』&『みそみ買い物メイト』の取り組みの経緯や現状、課題等についての実際見学、説明紹介、質疑応答



◎『志比北地区地域支え合い座談会』を対象とした視察研修

日 時	R3.3月5日(月) 10:00~14:00
行き先	福井県坂井市丸岡町
参加者	『志比北地区地域支え合い座談会』コアメンバー4名、社協職員6名
内 容	『竹田文化共栄会』が取り組む竹田地区の既存施設の利活用におけるこれまでの経緯や現状、課題等についての実際見学、説明紹介、質疑応答

(3) 地域福祉推進課と連携した事業の推進

- ・「地域づくり」という共通した役割をもつ地域福祉推進課と連携して事業を進めるべく、担当職員との打ち合わせ会等を定期的実施。

(4) 社会資源、福祉課題の周知、把握並びにすでにある協議の場への参画

- ・町福祉保健課及び総合政策課との情報共有。
- ・地域ふれあいサロンへの訪問。
- ・自立支援ケア会議に生活支援コーディネーターとして参画。
- ・『御陵きらきら探検隊』活動推進委員会に生活支援コーディネーターとして参画。

●支え合いのまちづくりのための住民への啓発活動

- ・社協広報誌(ほほえみ)、広報永平寺、新聞各社、民放各社、えい坊チャンネル等を通し、住民主体の支え合い活動の紹介記事などを掲載。住民への周知啓発を図る。



6. 認知症総合支援事業

○認知症の正しい知識の普及・啓発事業

(1) 認知症サポーター養成講座を開催

延べ2回開催。認知症サポーター養成数 96名

場所・対象	内 容
地区サロン	1回
病院	1回
計	2回

- ・認知症に関する正しい理解の普及啓発は繰り返し実施していく必要があるため、広報誌などによる啓蒙も合わせて行った。
- ・令和3年度における小中学校での講座開催に向けて、町内小中学校へ講座の案内を行った。

(2) 町内キャラバン・メイト活動支援

- ・認知症サポーター養成講座開催支援

町内キャラバンメイトによる初めての講座開催を支援。
社会福祉協議会に在籍するキャラバンメイト(3名)が
中島サロンにて講座を開催。



- ・キャラバンメイト交流会の実施

11月13日(金) 16名参加

(3) 認知症地域支援・ケア向上推進事業

①認知症カフェの支援

新型コロナウイルス感染の影響で4～5月は開催中止、6月より感染予防対策を行いながら再開した。

②認知症ケアパスの作成

令和2年度は簡易版を作成。町内の医療機関設の窓口を設置し啓発を図った。

(4) 徘徊高齢者などへの対策強化

出前講座や地域ケア会議等で、住民や関係者に徘徊高齢者等 SOS ネットワークについての周知を行い、徘徊の恐れのある高齢者の事前登録を推進した。

登録・・・21件

(5) 認知症初期集中支援推進事業

認知症による症状があり。家族が困っているケースについて、認知症初期集中支援チームによる早期対応を図った。

受付件数：3件

訪問回数：7回 (訪問困難による電話及び窓口対応10回)

チーム員会議回数：3回

24 介護予防支援事業

1. 介護給付による介護予防支援

年 度	延べ件数	うち委託件数
R 元年度	1,187 件	440 件
R 2 年度	1,123 件 (-64 件)	436 件 (-4 件)

2. 総合事業による介護予防ケアマネジメント

年 度	延べ件数	うち委託件数
R 元年度	701 件	265 件
R 2 年度	660 件 (-41 件)	201 件 (-64 件)

25 一般介護予防事業

すべての高齢者を対象に、介護になる前の段階から予防を行い、日常生活の向上や社会活動への参加、生きがいづくりを目的に実施。

1. 介護予防教室の開催

令和 2 年 2 月 28 日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため介護予防教室を休止。

8 月から再開したが、休止中に介護保険サービスへ移行された参加者が 9 名あり、またコロナ感染を心配し休む参加者や休止期間中にモチベーションが下がり教室に行く気にならない参加者等で参加率は低下した。また、大雪の影響でも休止あり。

独居の虚弱高齢者について、介護予防教室への参加が定期的な見守りになっていた事例がいくつかあり、事業継続の必要性を感じるとともに教室休止中の見守り体制が必要と感じた。

(1) 筋力トレーニング（ぞくぞく教室・もりもり教室）

活動的な高齢者を対象に生活機能の維持向上に向けた、マシンを使ったトレーニングを実施。

(a) ぞくぞく教室（1 年を通して 週 4 日 6 教室実施）

- ・感染予防策で 1 教室を 2 グループに分けて時間短縮で実施。
- ・休止期間中は、登録者へ状態確認の電話連絡を行い、状態が心配される登録者(1 名)を訪問。

	R1 年度 (6-9 月は代替教室)	R2 年度
参加者数実数	70 人	58 人
参加延べ人数	1,686 人	1,223 人
延回数	221 回	175 回

(b) もりもり教室（約3か月 週2日計24回 ぞくぞく教室入門編）

- ・新型コロナ感染状況により途中中断の可能性が高く、今年度中止。

	R1 年度	R2 年度
参加者数実数	5 人	0 人
参加延べ人数	111 人	0 人
延回数	24 回	0 回

(2) こつこつ教室

高齢者を対象に音楽や運動による健康教室を実施。

- ・感染予防策で1教室の定員を19人に設定。
登録者を2グループに分けて、隔週で参加する体制をとっている。
- ・休止期間中は、登録者へ状態確認の電話連絡を行った。

会 場	参加者	R1 年度	R2 年度
翠 荘	実 数	43 人	35 人
	延べ人数	1,175 人	309 人
ざおう荘	実 数	13 人	11 人
	延べ人数	408 人	248 人

(3) 筋トレ教室

元気高齢者を対象にした、筋力アップにつながる運動教室を実施。

- ・感染予防策で定員を各教室の広さに応じて設定。
登録者を2グループに分けて、隔週で参加する体制をとっている。
- ・休止期間中は、登録者へ状態確認の電話連絡を行った。
- ・自宅での運動を支援するために、教室講師に依頼し作成した体操メニューを登録者へ送付した。

会 場		R1 年度	R2 年度
やすらぎの郷	回 数	41 回	27 回
	実 数	24 人	22 人
	延べ人数	708 人	114 人
永平寺開発センター	回 数	36 回	27 回
	実 数	48 人	37 人
	延べ人数	922 人	330 人
老人福祉センター 永寿苑	回 数	42 回	27 回
	実 数	30 人	20 人
	延べ人数	547 人	259 人
ふるさと学習館	回 数	41 回	28 回
	実 数	20 人	18 人
	延べ人数	605 人	162 人



＜こつこつ教室(翠荘)＞



＜筋トレ教室(ふるさと学習館)＞

※予防教室休止中でも在宅で身体を動かすことが出来るよう以下の支援を行った。

- ① ケーブルテレビによるいきいき百歳体操の放映継続(4/2～、2回/日)
- ② ケーブルテレビによる「音楽で体操」の放映(4/2～、3回/日)
- ③ ケーブルテレビによる「TV体操」の放映(6/5～、1回/日)
- ④ 活動チェックシートを希望者に配布

2. 地域サロン事業等での介護予防出前講座

6月より予防策をとりながら出前講座を再開

月 日	団体名	内 容
8月21日(金)	吉波粋生サロン	今こそ免疫力を上げよう！
10月17日(土)	大野島小地域福祉委員会	よくわかる介護保険
12月16日(水)	鳴鹿ぬくもり会	自分の体力を知ろう
2月25日(木)	飯島サロン	百歳体操を体験してみよう

3. 地域づくりによる住民主体のいきいき百歳体操の普及

より参加しやすい集落のなかで、DVDを見ながら錘を使った体操教室を推進。

サロンや小地域単位で、現在 21 箇所[※]で住民運営の体操教室に取り組んでいる。

住民自らの活動を継続性のあるものにするために、定期的に作業療法士による評価などを行う。

R2. 2/28～新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催自粛を呼びかけ。

R2. 6月より再開に向けての支援を行い、順次再開。

7月より作業療法士による評価開始。

R3. 3月末時点で 21 カ所全てが百歳体操を実施している。



＜浅見地区百歳体操＞

4. 地域介護予防活動支援事業

・フレイルサポーター養成およびサポーターによるフレイルチェックの実施

月 日	内 容	サポーター数
10月9日(金)	フレイルサポーターステップアップ研修	9人

10月22日(木)	永寿苑会場フレイルチェック(13人)	7人
10月28日(水)	牧福島会場フレイルチェック(6人)	6人
R3.3月18日(木)	令和2年度フレイル予防関係者会議(オンライン)	2人



<フレイルサポーター養成講座>



<フレイルチェック(永寿苑)>

5. その他

1. 地域包括支援センターの業務を円滑に進めるための他部門との連携

- ・福祉保健課との連絡会(毎月1回定例で開催)
- ・在宅介護支援センターとの連絡会(毎月1回定例で開催)

2. 福祉、医療人材育成への協力

- ・福井県立大学(看護学科、社会福祉学科)、金城大学社会福祉学科の実習受け入れを行い、後進育成への協力に取り組んだ。

3. 職員の資質向上

- ・研修などを受講し資質向上を図った。

【オンライン研修】

月 日	内 容	参加数
10月30日(金)	令和2年度福井県地在協研修(コロナ禍における適切な事業運営)	3名
11月10日(火)	住民に求められる包括的支援体制に構築を目指すセミナー	3名
11月11日(水)	令和2年度生活支援コーディネーター研修	1名
12月25日(金)	市町災害時対応力強化研修	2名
R3.1月22日(金)	令和2年度福井県地在協新任職員研修(相談援助の基本を考える)	2名
1月28日(木)	令和2年度福井県地在協現任研修(家族介護者支援)	6名
2月 1日(月)	令和2年度全国地在協研修	3名
2月8日(月)	令和2年度全国地在協研修	1名
2月22日(月)	令和2年度地在協現任研修(介護殺人を防ぐには)	5名

【対面研修】

月 日	内 容	場 所	参加数
10 月 15 日(木)	介護支援専門員研修会（難病療養者支援について）	役場本庁	5 名
11 月 25 日(金)	高齢者虐待防止関係職員出前講座	役場本庁	6 名
R3. 2 月 15 日(月)	介護支援専門員研修会（家族介護者支援について）	役場本庁	6 名

26 在宅介護支援センター

1. 高齢者の安否確認、実態把握及び相談対応
 - (1) 安否確認 1641 件（前年度比；+174 件）
 - (2) 実態把握 363 件（前年度比；-39 件）
 - (3) 相談対応 276 件（前年度比；-98 件）
2. 365 日 24 時間体制（夜間携帯対応）で町民からの相談を受け、地域包括支援センターのランチとして、地域包括支援センターにつないだ。
3. 高齢者の実態調査や初期の相談対応業務を地域包括支援センターと協力・連携して行った。
4. 月 1 回定例開催される地域包括支援センターとの連絡会、福祉保健課との連絡会に出席し、情報共有等の行い連携を図った。
5. 新型コロナウイルスの影響にて公共施設などの閉館中は、ひとり暮らしや高齢世帯を中心に、心配な方を電話にて安否確認を行った。必要な方は訪問し状態確認を行った。
夏場は熱中症予防のチラシを配布し注意喚起を行い、電話連絡がとれない方に関しては民生委員と情報共有し安否確認を行った
6. コロナ感染拡大の影響でひとり暮らし会食会が中止となり、安否確認を兼ねて民生委員の方と同行訪問を行った。同行することで顔の見える関係づくりができ連携の強化を図る事ができた。
7. 大雪の際は電話での安否確認を行い必要な方には訪問し状態確認を行った
ひとり暮らしの方は特に屋根雪の心配をされる方が多くみられ指定の業者に繋ぎ対応した。